事變下農村問題座談會

米の不足心配なし

【十九】 縣民は戰地の氣持で

米の需給對策

座長（根岸氏） 本縣ただけ米の不足を如何に解決する、結局消費の問題で臨時に米の配給に關する組合が出來、政府としては準備對策をてられて居ると思ひますが川部長さん一ツお願ひ致します

川經濟部長

本縣は一年三十万石の不足である米行の增收節約で大體の見透は十七万石であれば需給はつと言ふ事になつた十七万を一體何うするかと言ふと（中の十三万石は麥とか雜穀食つて十三万石の配給程度節約する且つ殘る四万石位早場米を獎勵して是でカバするこんな大體の方針であ從つて大體麥を食つて雜穀を食つて十三万石位消費すると言ふやうにしなければならないのである米を食はなければ命が繋がれんと言ふ譯はない三十年前にさかのぼれば麥を食つたり豆を食つたりして强健な體を保持して居る然も戰線にあつて命を的に或時は三日も四日も食はずに木の根草の葉を嚙じつて戰つて居らるゝ將兵の事を考へたならそんなことは言つて居られないと思ふ麥を食ひ豆を食つて米を食ひ延ばしの出來ない事はないのであつて皆さんのやうな知識階級の方々は是非此の點を一般に指導してやつていただきたい處で理想的に行くならば全部解決する事となるが他の方法は全然取らないかと云へばさうではない縣外から移入する私三日前農林省と交渉して來た外米二万袋を買入れる事とした縣外から米を入れ安心の程度を高める必要がある是等のものは何う云ふ風にして集荷配給するか再三新聞で報道されてゐるが大體産業組合、商業組合系統農會系統から集荷して産業組合系統商業組合系統から配給させる、さう云ふのが建前だ節米を徹底させ代用食を勸める方法と縣米を出來るだけ永く食ひ延ばす方法を執つて來たそれで痛切に感ずるのは米が足りないなぞと云ふて慌てて早く手に入れんければならぬと云ふやうな態度が一般に執られると之れに一層拍車を掛ける事となるので何うか足許をどつちりと構へて五日や十日位は食はずにゐても何でもないと言ふ縣民が心構へならば此米不足も切拔けられると思つて居る兎に角さう云ふ計畫で着々實行して行くが各地の取引上の關係で部分的には時々枯渇しても心配はない縣としてはそれぞれ對策を以つてゐる買上げ第一回は二十七万二千俵であるが是は縣が端境期に確保してをきたい第二回は此調子で行くか縣としては一俵でも多くやりたいと考へてゐる兎に角一定の貯藏量を以つて一定の貯金をしてないと臺所を引締めて行けば縣としてはあはてない、さう恐るべきものでないと思ふ、放つてをくわけには行かないみんな協力して戰爭をする氣持ちでやつたらさうむづかしい事ではないと思ふ

關元吉氏（京ケ島警防團長）

節米と申してもワリを入れるのだが大麥が殆どない農家でワリが食べられない小麥の値段が好い爲めに大麥の作付はぐつと減つてしまつてそれが爲めに昨年あたり五十圓保證するから小麥を作れと云つた風だつたものだから農家では節米運動の話をすると我々は今まで麥を食べてゐたんだから今度は街の人にやつて貰ふんだと言つてゐる（一同哄笑）

「增産計畫」に挑戰？

突如、霜匪の襲來

被害三千數百町歩

廿八日吹きまくつた風が凪いで午後四時三十分頃から氣溫急降下し午後六時三十分前橋測候所では霜害警報を發したが果然同夜午後十一時には四度四分に下り廿九日早曉九時は最低氣溫一度六分となつて群馬、佐波、勢多、北甘、碓氷の五郡を主とし縣下各地に降霜をみた、縣蠶絲課では前日警報を接受するや日曜にも拘らず梅澤栽桑係主任技師以下係員は徹宵縣下各蠶業取締所支所十三郡市養蠶業組合と連絡、刻々情報を交換しつゝ豫防陣を張つた、廿九日蠶絲課へ報告されたところによると左記の通りであるが一方日照時となるにつれ各警察署へ殺到する被害狀況報告は多野美九里、群馬岩鼻の全滅をはじめ平井（多野）玉村（佐波）小幡（北甘）等被害甚大とされ廿九日午後一時までに判明した分は計二千數百町歩に達してゐる、現在桑葉の發育狀態は利根、吾妻を除き大部早きは三、四開葉、遲きは燕口期にあり被害程度如何によつては八百万貫增産計畫遂行に暗影を投ずるやも測られず憂慮されてゐる

△碓氷郡東橫野、西橫野、八幡、安中等に降霜あり被害輕微

△佐波郡上陽、赤堀を中心に全郡に亘つて霜をみたが被害は五パーセント位と推定される

△山田郡、邑樂郡、新田郡は被害なき見込

（寫眞は木瀬村にて）

被害報告

二九日縣下各郡一圓を襲つた降霜被害に付き縣保安課では縣下各署と連絡調査中であるが判明せる被害は群馬郡岩鼻村の桑園四十町歩多野郡美九里村七町步全滅を始め多野郡平井村の七割、佐波郡玉村十割、北甘樂郡小幡町地方桑園四割の被害を頭に左の如くである

△高崎署管內 廿九日午前四時頃群馬郡岩鼻村地方に降霜あり同村の桑園四十町歩は全滅に瀕した、又同郡[illegible]川、金古、瀧川、清里の四ケ町村の桑園四百八十町歩は五分から三割の被害

△富岡署管內 北甘樂郡小幡町大字善慶寺の桑園七町步に同村大字小幡の桑園廿九町步四割の被害、又同郡黑岩村內上黑岩、黑川の一部桑園百町步、同郡小野村內下高尾、際木、小勝原の桑園十五町步は一割から二割の被害を見たが養蠶には支障ない

△前橋署管內 今朝午前四時頃勢多郡芳賀村に勝澤、小神明、荻島、丸島、五代の一部十町步に結霜あり一割程度の被害、又同郡木瀬村內上增田、下增田、小島田、小屋原、鶉弁の桑園一圓は三割の被害

△館林署管內 邑樂郡千江田村全村桑園卅四町步に廿八日午後十一時頃から本朝四時頃迄に降霜あつたが被害は一割位で養蠶掃立には影響ない

△藤岡署管內 本朝午前五時頃多野郡日野村の一部桑園降霜あり三割程度の被害、又同郡小野村の一部卅七町步の桑園は一割程度

△大間々署管內 本朝五時頃勢多郡新里村內粕川、武井、小林の一部二十町步の桑園に降霜あり二割の被害

△境署管內 佐波郡采女村一圓の桑園三百五十町步に本朝降霜あつたが被害は約五分程度、又同郡島村は九十町步に一割位の被害で既に春蠶掃立後であるが幸ひ支障はない

△伊勢崎署管內 本朝午前五時頃佐波郡內東村、赤堀、茂呂、殖蓮、芝根の桑園一百六十三町步に降霜、被害は一割から二割程度、外馬餘署五十町步も相當の被害があつた、尙同郡玉村町大字上野寺の桑園十町步は七割の被害

△其の後藤岡署管內で判明せる被害は多野郡美九里村の桑園七町步は全滅、又同郡平井村の桑園四十五町步には六割の被害があつた

△松井田署管內 本朝午前零時頃碓氷郡九十九村一圓の桑園四十町步に降霜あり一割の被害、又北甘樂郡妙義町內中里、古立の一部桑園二十町步は二割の被害

最高は五六割

被害五郡下に及ぶ

[illegible]業取締所支所、養蠶業組合地觀測によればが降つた後のことゝて桑葉緊張してゐたこと、水霜或は局部的な降霜で案外實害少なかつた[illegible]被害は[illegible]觀測して[illegible]甘樂平村の五六割、勢多の最高五六割群馬郡三割等前記五郡桑園二万三千五百餘町步中二千五百町步の被害面積を數へ來月四五日の掃立期を前にし縣でもこれが被害[illegible]應急對策[illegible]活動を開[illegible]利根[illegible]桑葉[illegible]

發育遲がいので心配ない

△勢多郡富士見、芳賀、桂萱、[illegible]、荒砥、大胡各町村に於て局部的に[illegible]割、ならして一二割被害があつた

△群馬郡岩鼻、大類、瀧川、東、國府等に局部的に一、二割の被害あり激しいところは三割位

△多野郡被害なし

△北甘樂[illegible]、黑岩、一之宮、高瀨、小幡、福島、[illegible]平、小野各町村最高五六割、掃立延期の必要な箇所も[illegible]被害面積多し

對策は心配なし

縣調査隊の待機

廿九日早曉縣下を襲つた今春最初の大降霜に對し蠶業取締所支所及び郡市養蠶業組合からの霜害報告と縣保安課へ達した地元の被害報告とは相當隔たりあり警察部の調査は地元の聞込調査が多いので全滅といふも實際についてはなほ調査を要する點ありとし蠶絲課では追つて詳細判明をまち直に調査隊を繰出すべく待機してゐる而してこれが對策としては

被害輕微なものは幾分發育が止まつた程度であるからその儘に放置しておけばよい（芯までやられたのでなければ氣候の恢復により再び順調に發育する）被害甚しきは掃立を延期の要があるが催青期にあるものは反轉期前ならば冷藏して發蟻を抑制する、華氏四〇―四五度で冷藏するは最大限十五日延びる、また反轉期後或は卵內眠[illegible]發育[illegible]を檢する事[illegible]青を濫用、發蟻前日華氏四〇度前後の低溫で冷藏すれば最大限十日保つ

右の通りである

梅澤技師談

こちらへの報告では局部的には被害がひどい所もあるが大體輕微です對策と云つても夫々養蠶業組合等で指導してゐますし各地實行組合網を通じて實施事項が徹底してゐますから心配ありません、心配なのは今後の氣象激變です

銃後の不心得者

高崎署では最近硬軟不良青年の犯行が激增の傾向にあるのに鑑みこれが肅正のため二十八日夜招魂祭の大雜踏を機會に六時から十二時まで市中は勿論煙火大會の行はれた公園下河原一帶に亘つて署員總動員で一齊檢察の網を張り未成年者の飮酒、喫煙、婦女追隨の軟派、都會の男女等を狩立てた結果百三名の靑少年と四名の若い女を發見したが靑少年のうちには公吏、鐵道員、學生、女のうちには僅十五歲で都會してゐた早熟少女等もあり時局柄を忘れて銃後靑少年男女の心に弛緩の傾向顯著なものあつたので岡田署長から懇々と訓戒し大部分を釋放したが惡質のもの二十四名は斷乎檢擧留置の嚴重處置を執行反省を促がした

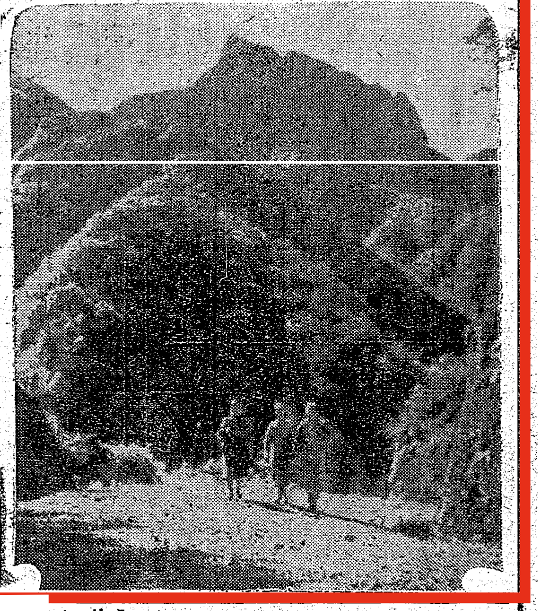
桐織の資金融通

桐生織物同業組合第一部（お召）では端境期に當面、業者の資金難を緩和するため製品を擔保に第一回三十萬圓を融通すること決定・第一銀行と交渉成立、五月一日よりこれが貸付事務を

上信甲の最短路線

內山峠の開通

來月十五日開通式



上、信、甲三州を結ぶ最短路線縣道富岡―野澤線の內山峠開鑿工事は本縣側は去る昭和十年から縣營を以て工費八万圓を投じ市の萱から着工し最近內山峠まで完工、又長野縣側は十四年度事業として縣營で數万圓を投じて中込側から內山峠まで施工されこれ亦此の程竣成したので兩縣當局では來月十五日盛大な開通式をあげる豫定で準備を急いでゐるが此の工事の完成に高崎から下仁田までは上信電鐵の電車により又下仁田―野澤間は同社のバスに依つて連絡する筈で既に長野縣下の野澤―大月間のバス路線は筑摩自動車から買收し本縣側の小屋場から大月間のバス運轉も認可申請を終り許可を待つのみとなつてゐる

從來內山峠は物資は馬背、旅人は徒歩で越えると云ふ昔ながらの狀態を續けてゐたが今回の縣道工事の完成によりバスが全通すれば高崎―下仁田間の電車は急行を配して連絡し高崎―中込（高原、道小海線）までを二時間で結び甲府へは中央線を經て極めて短時間に達する事を得るわけで群馬、長野兩縣間の經濟、薪炭、木材、米穀等の輸送に劃期的な進展を見せ産業上、國防上に重要な役割を果たすばかりでなく神津牧場、荒船山等への觀光コースも亦非常な利便が得るわけで此の道路の利用價値は期待に反せぬものがあらう（寫眞は荒船を背に新道を行く女性ハイカー達）

新聞協會大會

皇祖肇國の聖地で開催

全國著名新聞人よりなる日本新聞協會では皇紀二千六百年を壽ぐため大擧して遠く肇國創業の神境たる高千穗峰登攀を中心とし第廿八回大會を下記の如く總裁宮殿下御親臨の下に五月十日から一週間に亘り別府、弘島、宮崎、鹿兒島各市に於て開く事となつたが上毛新聞社からは篠原社長、樋口常務、天田、青木、大澤、田村の各重役が出席する筈である

△第一日（五月十日） 午後五時別府市に集合、午後六時官民主催招待晩餐會

△第二日（五月十一日） 午後二時廿三分別府驛發―同六時延岡驛着宿泊

△第三日（五月十二日） 朝延岡發日ノ影往で三田井着、高千穗神社參拜、高千穗峽視察―宮崎市宿泊

△第四日（五月十三日） 午前十時宮崎神宮八紘台參拜、午後一時教育會館に評議員會及大會々議―總裁宮殿下御臨席―午後六時協會主催晩餐會

△第五日（五月十四日） 鵜戸神宮參拜、青島視察―午後六時縣市會議所の催招待晩餐會―宮崎市宿泊

△第六日（五月十五日）（甲班）霧島神宮參拜[illegible]し高千[illegible]（乙）[illegible]霧島溫泉着宿泊

△第七日（五月十六日） 霧島溫泉發鹿兒島神宮―高千穗宮址―高屋山上御陵參拜―鹿兒島見學―櫻島視察―午後五時半縣、市、會議所主催招待晩餐會、鹿兒島市宿泊

△第八日（五月十七日） 朝鹿兒島發―川內驛―可愛山陵―新田神社參拜

青年學校の表彰式

縣下青年學校優良生徒表彰式は二十九日天長節の祝日に際し縣下各地の青年學校に於てその表彰狀の授與式があるがこの授與者は縣下男女學生徒合計して四百七十八名で各郡別に見ると左の如し

勢多九二、群馬四七、多野二一、北甘五五、碓氷二四、吾妻二〇、利根六五、佐波七四、新田三三、山田六、邑樂二三、前橋一〇、高崎四、桐生四

桐生のナチ講演會

桐生織物同業組合主催産業報國會後援のドイツ青年指導者訪日代表ラインフォルト●シエルツエ氏の「戰時下に於けるドイツ産業統制の實情」と題する講演會は二十八日午後二時から同業組合階上で開催、聽衆[illegible]餘名、終つて織物關係者等は同氏をかこんで吉野屋で午後四時半から歡迎晩餐會を催し種々懇談、お土産に桐生産の綢袢服地その他を贈呈シエルツエ氏は大喜びで同夜

統計の示す火事

縣警防課では火災は個人的損失なるのみならず國家的重大問題なるに鑑み此防止に萬全を圖つてゐるが遺憾ながら充分な効を奏せず憂慮してゐるが然し昭和元年から昭和十四年までの統計になると逐次減少の傾向にある

これを數字的に示すと卽ち昭和元年四五九、同二年四二〇、同三年四二七、同四年四九六、同五年四五六、同六年四五一、同七年五〇八、同八年四三五、同九年四六一、同十年四二七、同十一年四〇六、同十二年四〇五、同十三年三九〇、同十四年三〇〇で十四年度は例年に比較しグンと減少を表はしてゐる、原因は焚火が何といつても筆頭で次が弄火、炬燵、取灰、煙草の吸殼となつてゐる昭和十四年度の調査によると

焚火三七、弄火二八、炬燵二三、取灰不始末二二、煙草の吸殼一二

といつた數字を示してゐるが、尙この火災が及ぼす損害並に死傷は

△昭和元年八八一、九七八圓 死なし、傷四九

△同二年四五七、七八六圓、死五、傷八九、計九四

△同三年四四四、六三八圓 死一四、傷八一、計九五

△同四年一、三四三、〇五二圓 死二、傷六二、計六四

△同五年 九五一、八七四圓 死四、傷二四、計二八

△同六年三一九、七五二圓、死二三 傷五九、計八二

△同七年二四八、一六五圓、死一四、傷三八、計五二

△同八年二三四、四〇一圓、死三、傷二九、計三二

△同九年三三二、六七三圓、死九、傷三四、計四三

△同十年六〇二、一一三圓、死八、傷三八、計四六

△同十一年二三八、一一四圓 死五、傷三八、計四三

△同十二年五七六、二四一圓 死五、傷一一、計一六

△同十三年四一九、五四六、死一〇、傷二八、計三八

△同十四年七三二、六二一圓 死五、傷一四、計一九

これから養蠶期に入ると又火事が多くなるから注意して貰ひたいと縣警防課ではいつてゐる

廢物を拾ひ集めて

おかつぱ獻金隊

天長の佳節を壽ぐ國旗の波が街にひるがへる二十九日正午勢多郡木瀬村尋常高等小學校駒形町二丁目通學團の同校高等二年井野まつえ（一五）さん以下可愛いおかつぱ姿の小學生十餘名が本社をおとづれ「これを國防獻金の一部にして下さい」と係へ差出したこれは駒形町二丁目の通學團七十六名の兒童達が平常先生から物を粗末にしてはいけませんと敎へられて通學中路傍に落つてゐる古釘やその他のものを拾ひ集めこれを賣拂つた報國純情の金二圓十八錢で此のおかつぱ部隊は此の日自轉車に乘り日の丸の旗をくゞつて本社へその獻金方を委託して來たもの本社では直にその手續をとつた（寫眞は本社前に於ける駒形町二丁目通學團代表）

桐中松商戰

桐生中學對松本商業野球戰は二十八日午後一時十五分桐生市新川球場で杉浦、球、昭川、村上（壘）三氏審判松本商業先攻に開戰、三對〇で桐中勝つ閉戰二時四十五分、兩軍バッテリ、スコアーは

◇桐中常見―深澤◇松商洞澤―古水

松商000000000―0

桐中10002000×―3

◇松商打數三一、安打三、犧打一、三振五、四死一、失策二◇桐中打數二九、安打四、犧打一、三振三、四死三、失策五◇壘打二壘田（桐中）中村（策）木暮（松商）平林

三十日のメモ

▲農業報國協議會（群馬郡農會安中青年校、館林南校）

▲警察部長の初巡視（原町、長野原、松井田、安中署）

▲縣方面事業助成聯合會（前十一時群馬會館）

▲兒童保護協議會（群馬會館）

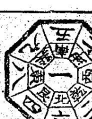
▲更生勇士の體驗懇談會（前橋陸軍病院）

▲徵兵檢查（多野入野村小野村）

キネマ

◇富岡電氣館にては二十八日より左記寫眞を上映

松竹花柳章太郎、森赫子主演「殘菊物語」其他



四月三十日

舊三月廿三日 火 癸卯 先勝 閉 尾宿

東京市本郷區湯島 高島易斷所神誠館

▲一白 思ふ事十指に餘りても選擇に迷ひ決せぬ日坤西庚が吉

▲二黑 目上の惠み薄く人を賴にせず自ら勵むべし東坤丙が吉

▲三碧 事々は着々と進めども和合に欠くる所あり壬癸丙が吉

▲四綠 明るい樣でも何となく晴々せぬ日進退注意壬癸巽が吉

▲五黃 運氣盛大なるやうでも目上と疎隔あり[illegible]乾が吉

▲六白 入りても出ても滿足を得らるゝ日失物注意巽丙壬が吉

▲七赤 快く働ける日で家氣を揃へ焦らず進むべし東壬癸が吉

▲八白 人の爲に勞して却て怨まるゝことあり注意巽庚丙が吉

▲九紫 急功を求むるときは運氣益々減り行くべし丙酉甲が吉

前橋の出生死亡

出生（廿九日） 立川町八〇中島直造二男泰彦、一毛町四〇五萩澤重平四男辰男、岩神町一六二山田辰次郎長女初代、紅雲町二五七立田良作長女安子、芳町一五阿久津德壽長男智、紅雲町九三大瀧順二三男紀夫、國領町野口幸一郎三女ヨシイ、一毛町三〇二鶴淵清男長男公夫、大塚町四八信澤信一男長男好治、清王寺町四六四森田喜太郎三女ヒサ子

死亡（廿九日） 岩神町二四〇立木みどり、紫町五六中川クマ、清王寺町九三櫻井金太郎、國領町一九八[illegible]美惠子、小柳町二六山[illegible]、[illegible]川町五五山岸[illegible]

肥料難でお困りの農家に告ぐ

金肥を半減或は使用せずして稻麥トマト胡瓜西瓜其他一般農作物の收をはかる最も容易に直ちに今期稻作にも實行出來る先年來各地の結果絶大の好成績なり肥料不足難何ぞ恐るゝに足らん至急ハガ公者に試驗成績及說明書送呈。

東京小石川 應用肥料研究[illegible]

第八拾八回決算公告

（昭和十五年三月卅一日現在）

借方		貸方	
未拂込資本金	七一八、〇〇〇、〇〇	資本金	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
建設費及興業費	[illegible]	諸積立金	[illegible]
貯藏物品	[illegible]	借入金及支拂手形	[illegible]
未收入金及假出金	[illegible]	職員積立金及未拂金	[illegible]
有價證券	[illegible]	假受金及信認金	[illegible]
預金及現金	[illegible]	前期繰越金	[illegible]
所有土地	[illegible]	當期純益金	[illegible]
合計	三、五九五、五八三、三八	合計	三、五九五、五八三、三八

右公告候也

昭和十五年四月二十六日

上信電氣鐵道株式會社

取締役社長 山田昌吉

[illegible]

取締役監査役改選ノ所[illegible]

民事刑事訴訟ノ依賴ニ應ズ

高崎市宮元町

辯護士 芥川辰次郎

統制時代の經濟齒磨

半練の仁丹

最高品質と二倍効果

純綿が小量あります

「防水マント―雨合羽―モヂリ―レーンコート」

今の内に早く

訓練服 作業服 團服 製造

ミツワ商會

前橋市中央電鐵前大通り

電話二八五七番

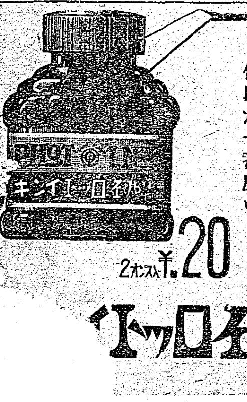
產科 婦人科（入院隨時）

橫地医院

前橋市神明町四八（向町ヨリ公園通リ）

院長 醫學士 橫地長三郎

電話二七一三・三一五三番



色調が一番美しい

値段が一番廉い

2オンス入 ¥.20

パイロットイ

花賣娘三部作遂に完成！

（上原げんと編曲） 1.85

唄 岡晴夫

上海の花賣娘・廣東の花賣娘に更に輪をかけた傑作

南京の花賣娘

43

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。